

日本アセアン文化交流事業

Queen Sirikit Institute & JAPA 協同開催プログラム

《玉虫》がつなぐタイと日本の工芸

“タイ王国 Queen Sirikit Institute と工芸作品・技術を通じての文化交流”

日時

令和元年10月2日(水) 14時～17時

会場

東京藝術大学 正木記念館



【共催】 タイ王国 Queen Sirikit Institute／公益財団法人美術文化振興協会（JAPA）

（〒167-0053 東京都杉並区西荻南4-12-4 TEL: 03-3334-7918 FAX: 03-3334-7919）

【後援】 タイ王国大使館／外務省

《玉虫》がつなぐタイと日本の工芸
“タイ王国 Queen Sirikit Institute と工芸作品・技術を通じての文化交流”

スケジュール

司会：公益財団法人美術文化振興協会 事務局 加賀谷早苗
通訳：タイ王国元日本留学生協会代表 Miss Bhusdee Navavichit

- | | | |
|----------------------------|-------------|--|
| 1. 開会の挨拶 | 14:00 | 公益財団法人美術文化振興協会 理事長 大津 英敏 |
| 2. 主催者代表挨拶 | 14:05 | 公益財団法人美術文化振興協会 名誉会長 小和田 恆 |
| 3. 講演 | 14:15 | 東京藝術大学美術館所蔵品解説 東京藝術大学美術館 教授 黒川 廣子
タイ王国 王太后副秘書官代理 Thanpuying Supornpen Luangthepnimit
Queen Sirikit Institute ディレクター M.L. Aurajita Snitwongse |
| <hr/> 休憩 15:00～15:30 <hr/> | | |
| 4. 実演 | 15:30 | 玉虫翅装飾に関する道具や材料の紹介と実演
Queen Sirikit Institute 職人 Mr. Sukrit Taechapongtanachot
Mr. Thanapol Nuamhom |
| 5. 対談 | 16:00 | 聞き手：公益財団法人美術文化振興協会 会長 近藤 誠一 |
| 6. 閉会の挨拶 | 16:50 | 公益財団法人美術文化振興協会 理事長 大津 英敏 |
| 7. 歓談 | 17:00～17:45 | Queen Sirikit Institute 関係者と参加者の皆様の交流会
会場：音楽学部 赤レンガ1号館 2階
ご自由にご参加、ご歓談ください |

日本アセアン文化交流事業
Queen Sirikit Institute & JAPA 協同開催プログラム

《玉虫》がつなぐタイと日本の工芸
“タイ王国 Queen Sirikit Institute と工芸作品・技術を通じての文化交流”

公益財団法人美術文化振興協会は公益目的事業のひとつである「日本アセアン文化交流事業」に長年取り組んで参りました。本日はその一環としてタイ王国ワチラロンコーン国王陛下管轄の Queen Sirikit Institute と共同で「《玉虫》がつなぐタイと日本の工芸 “タイ王国 Queen Sirikit Institute と工芸作品・技術を通じての文化交流”」を開催いたします。同機関から関係者をお招きしてタイ王国の工芸作品・技術について講演と実演を賜り、タイ王国からご持参いただいた《玉虫》細工の美術品と《玉虫》に関連する東京藝術大学美術館の収蔵品もあわせて展示いたします。

公益財団法人美術文化振興協会について

- 英語表記 The Japan Association for the Promotion of Arts （英語略称：JAPA）
- 目的 広く美術家の交流を促進し、日本文化の伝統を基盤とした創作活動を奨励するとともに、諸外国との美術文化交流を図り、もって我が国及び諸外国の美術文化の向上と発展に寄与することを目的とする。
- 事業 前項の目的を達成するため次の事業を行う。
 1. 美術文化に関する国際交流
 2. 美術文化に関する研究会・講演会等の開催
 3. 美術文化に関する展覧会の開催
 4. 美術文化に関する優れた業績のある者の顕彰
 5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 沿革
 - 1981 年 文部大臣の認可を受けて設立
 - 1981 年 宮本三郎記念賞創設。洋画家・宮本三郎の業績を記念し、優れた具象洋画作品を選考、賞の授与及び受賞作家の回顧展を開催
 - 1982 年 （財）美術文化振興協会賞を創設し、選考と賞品の授与を行う
 - 1982 年 ハーバード大学（アメリカ）への美術家派遣事業開始
 - 1992 年 右卿記念賞を創設し、選考と賞品の授与を行う
 - 2005 年 ライデン大学（オランダ）への美術家派遣事業開始
 - 2014 年 内閣府から公益財団法人への移行認定を受ける
 - 2019 年 JAPA 天心賞を創設し、美術文化に関する優れた業績のある者の顕彰を行う

美術文化振興協会の生い立ち

財団法人美術文化振興協会 名誉会長
小和田恆(国際司法裁判所所長)

財団法人美術文化振興協会の誕生は、今から30年前に遡ります。



1977年夏、福田赳夫総理大臣はASEAN諸国を歴訪し、最終訪問地のマニラで歴史的なスピーチを行いました。「心と心の触れあい」に根ざす東南アジア諸国の真の友人としての関係構築を打ち出したいわゆる「福田ドクトリン」は、その後今日までわが国の東南アジアに対する外交の基本となる柱として、内外から高く評価されてきております。

この福田ドクトリンの思想に深く共鳴した山崎覚太郎日展会長(当時)と西春彦元駐英大使が福田総理を訪ね、ASEAN諸国との人間、文化、芸術の交流を通じた関係強化を目指す美術文化振興協会の設立について同総理の積極的支持を要請したのが本協会発足の端緒でありました。当時総理秘書官としてこのマニラ・スピーチ作成に深くかかわった私が、協会設立のお手伝いをするよう一任されてその創設に協力することになったのは、そういう経緯からのことです。

「日本外交とは経済外交だ」という考え一色に塗りつぶされていた当時の潮流の中であって、人びとの心と心の交流こそこれからのアジア外交の核心であり、そのためには芸術文化面での国際交流が大切であるという考え方は貴重なものでした。その精神は今日まで本協会の活動の中に脈々と受け継がれております。

財団法人美術文化振興協会は、広く内外の美術分野の交流を促進して日本文化の伝統を基盤とした創作活動の奨励に努めるとともに、伝統美術文化を中心とした国際交流の推進を図ることを目的としております。この目的を実現するため、国内においては、美術文化振興協会賞(日本画・洋画)、宮本三郎記念賞(洋画)、右卿記念賞(書道)を創設して優れた作品を表彰する活動を行ってまいりました。また国際面においては、わが国の伝統美術について、各分野での第一級芸術家に委嘱してその歴史、哲学、実技を三位一体として教授することによって日本文化の本質を理解してもらうことを目指す日本美術文化講座を米国のハーヴァード大学(1982-90)オランダのライデン大学(2005-)など海外著名大学で実施してきております。さらに、東南アジア諸国との工芸分野での技術交流にも力を注いでまいりました。

その生い立ちから明らかなとおり、本協会はグローバル化が進む今日の世界において、異なった社会と社会、人間と人間の間の心の交流こそ真の国際交流の礎を築くという信念に基づいて、これまでの活動をいっそう強化発展させていきたいと願っております。

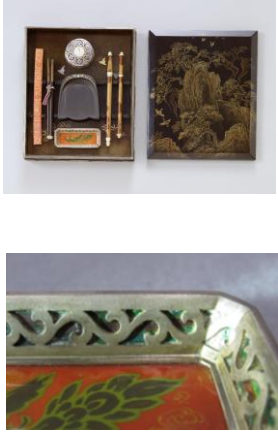
私どもの志に賛同される皆様方の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

(※上記は公益財団法人移行前の2007年に著述された文です。肩書、法人名等は当時のまま記載しています)

Queen Sirikit Institute 所蔵 玉虫翅装飾品リスト

番号	写真	内容
1		玉虫翅装飾 鶏 サイズ 幅 4.5 x 長さ 8.0 x 高さ 7.5 センチ 材料・技術 木彫 羽(玉虫) 口ばし・目の周り・足(金メッキ) 目(ルビー) 金 1.850 グラム ルビー 2個
2		玉虫翅装飾 鶏 サイズ 幅 6.0 x 長さ 9.0 x 高さ 8.5 センチ 材料・技術 木彫 羽(玉虫) 口ばし・目の周り・足(金メッキ) 目(ダイア) 金 2.500 グラム ダイア 0.10 カラット
3		玉虫翅装飾 少年 サイズ サイズ: 幅 6.1 x 高さ 13.5 センチ 材料・技術 木彫 衣装(玉虫) アクセサリー(金・ダイア) ネックレス・お守り(金) 金 10.400 グラム ダイア 0.41 カラット
4		玉虫翅装飾 少年 サイズ サイズ: 幅 6.6 x 高さ 13.0 センチ 材料・技術 木彫 衣装(玉虫) アクセサリー(金・ダイア) ネックレス・お守り(金) 金 10.400 グラム ダイア 0.41 カラット
5		玉虫翅装飾 マノーラ姫 サイズ サイズ: 幅 15.0 x 厚さ 10.5 x 高さ 17.0 センチ 材料・技術 木彫 アクセサリー(金・ダイア) 金 97.760 グラム ダイア 9.85 カラット
6		玉虫翅装飾 マノーラ姫 サイズ サイズ: 幅 12.0 x 厚さ 12.0 x 高さ 24センチ 材料・技術 木彫 アクセサリー(金・ダイア) 金 97.760 グラム ダイア 9.85 カラット

東京藝術大学大学美術館所蔵 玉虫翅装飾品リスト

番号	写真	内容
1	 墨床（部分拡大）	蓬萊雲鶴蒔絵硯箱 作者 六角紫水ほか (構想:大村西涯, 図案:渡辺香涯, 木地指物:齋藤富五郎) 制作年 大正6年 (1917) サイズ 縦 24.7 x 横 20.1 x 高さ 5.7 センチ 材料・技術 木製漆塗 蒔絵 附属品 水滴 銀透彫に螺鈿・千歳貝 (岡部寛弥作) 墨床 銀透彫に玉虫 (岡部寛弥作) 筆二枝 (筆管:広瀬長太郎作, 筆穂:勝木平蔵造作) 二合鞘刀錐子 (紫檀鞘・沈香把・象牙荘:木内省古作, 身:松家為吉作) 紅牙撥鏤尺 (浅井寛哉作) 硯面 墨 (古梅園製)
2		手箱 (玉蟲手箱・樂園の図) 作者 前田実 制作年 大正6年 (1917) 彫金科卒業制作 サイズ 縦 14.1 x 横 23.3 x 高さ 10.7 センチ 材料・技術 四分一 板造 透彫 玉虫・孔雀の羽根入
3		紅葉に玉虫手板 作者 野原貞明 制作年 明治時代 サイズ 縦 24.1.x 横 23.7 材料・技術 拭漆 貝・象牙嵌